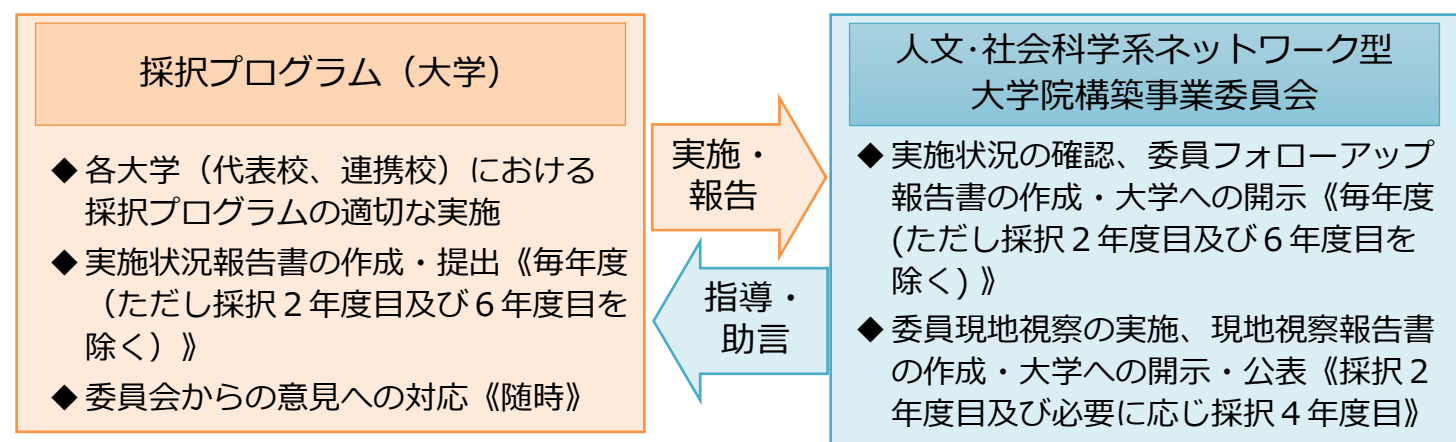
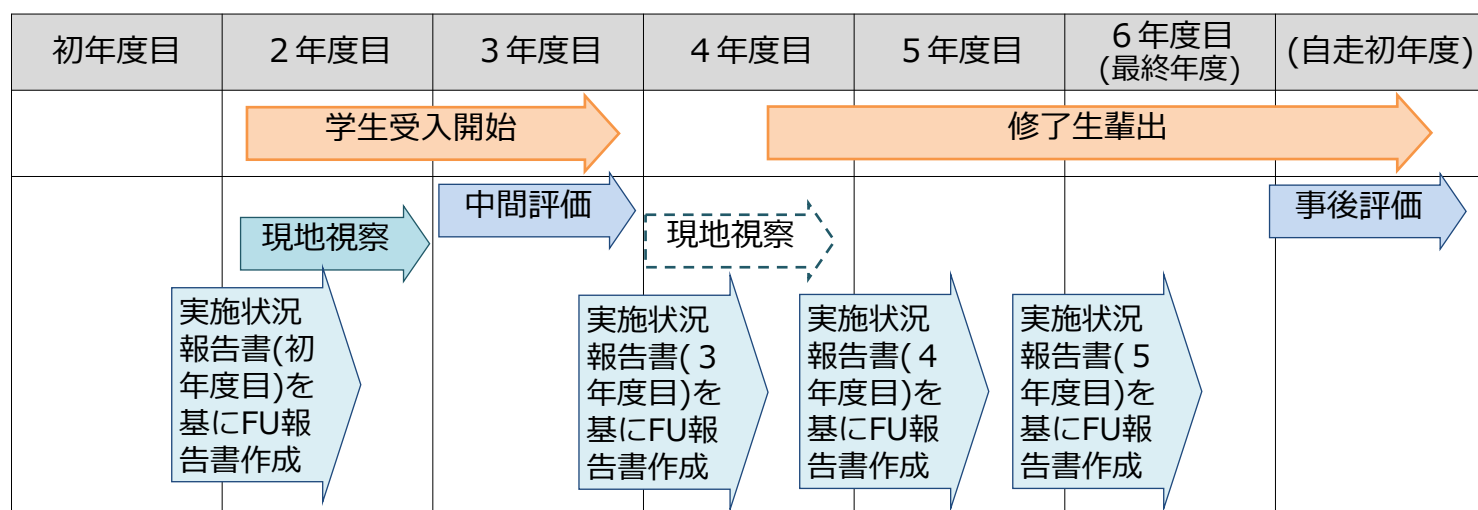


人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 フォローアップの概要

当事業の目的の着実な達成に資するため、人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会が、プログラム参加学生を含む関係者へのヒアリング等を行うことにより、採択プログラムの進捗状況を適切に把握・確認するとともに、必要に応じて指導・助言を行う。



フォローアップの経年イメージ



フォローアップの観点

- 事業の趣旨・目的が適切に理解されるとともに、代表校及び連携校や連携先機関といった学内外の関係者間で、適切に共通理解が図れているか。
- 採択プログラムの実施・運営体制は適切に構築されているか。
- 採択プログラムは当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。また、現地視察や中間評価の結果等を踏まえ当初計画が適切に見直された場合、その見直された構想・計画に沿って順調に進捗しているか。
- 本事業により構築される新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルについて、補助期間終了後の発展的かつ継続的な活動に向けた取組が進められており、また先駆的モデルとして手法及び計画における取組内容の波及が期待できるものとなっているか。
- 事業計画において提案された目的や成果の達成が、客観的なデータ（各事業で自ら設定した目標の達成度、各年度のKPIの達成状況）等による把握・検証の上で期待できるものとなっている若しくは効果があがっているか。
- 補助期間終了後を見据えた資金計画の状況がどのようなになっているか。
- 審査結果及び中間評価結果に付した留意事項、委員フォローアップ報告書及び現地視察報告書の意見等への対応は適切になされているか。
- 事業経費の支出内容は、費用対効果を含め妥当であるか。